



淀川・大和川・由良川

## 安全で安心できる近畿を目指し

人口、資産が集中する「都市域」を守る堤防強化対策および災害頻発等地域の緊急防災対策を行います。

### ● 背景 ●

#### 都市域には洪水被害のおそれがあります。

市街地を守る堤防は、十分に吟味されているとは限らない土砂を用いて逐次強化を重ねてきたものです。人口・資産が高度に集積した市街地は川より低い位置に存在し、ひとたび破堤すると壊滅的な被害を受けるおそれがあります。

京都府北部を流れる由良川は直轄管理区間内での堤防の整備が30%しか進んでおらず、たびたび洪水被害を受ける地域が残されています。

### ● 事業内容 ●

#### 洪水被害から都市域を守ります。

大都市の壊滅的な被害を未然に防ぐため、堤防強化対策として、市街地整備と一体となった水辺都市再生事業（スーパー堤防整備事業）を、淀川と大和川に挟まれた大阪の中核部の防御を重点的に実施します。既存の堤防の調査の結果、緊急対策が必要な区間については、堤防補強を実施します。

由良川においては中流部の堤防整備を順次進めています。平成16年度からは、福知山市戸田地区にある約70戸の家屋等を、将来、堤防になる位置の外側に移転するための公共補償に福知山市と連携して着手します。

### ● 事業効果 ●

#### 洪水による被害を軽減し都市機能を守ります。

堤防強化のうちスーパー堤防を実施することにより、大洪水が発生しても壊れない、安全な堤防となります。堤防補強については今の堤防より破堤しにくくなり、突然の破堤とはならな

いため、避難するための時間を稼げる等の効果が考えられます。

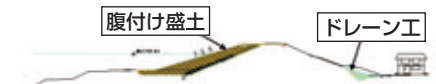
たびたび浸水している地域は築堤することにより、洪水被害から守られることとなります。



スーパー堤防整備区域



スーパー堤防の整備イメージ



堤防補強の整備イメージ



平成2年9月 台風19号による洪水